

2 . 日本経済のあゆみ (2)

第 1 章 日本経済の歩み

4 . バブルの発生とその崩壊

経常収支の黒字と前川レポート

内需主導型の景気拡大とバブル

バブル崩壊のマグニチュード

90 年代の日本経済

生活様式の変化

21 世紀の日本経済

4 . バブルの発生とその崩壊

一 経常収支の黒字と前川レポート

80 年代は経常収支黒字に悩んだ時代

(アメリカ経済の状況)

1970 年代はスタグフレーション () と () の共存)

1981 年経済再生計画 ()

高金利 + 財政緩和 ドル高 貿易収支の赤字 + 財政赤字 (「 」)

(日本の状況)

アメリカ経済の回復 日本の輸出増 () 対外摩擦激化

日本の黒字が増えるのは円安、ドル高のせい

85 年 9 月 「 」

(レポート) 経常収支の黒字是正を国民的課題として掲げる

二 内需主導型の景気拡大とバブル

(内需拡大のための財政・金融政策)

() の引き下げ、() の拡大 内需の拡大

資産価格の上昇 ()

(効果) 株や土地が値上がりすると、気持ちが大きくなって、消費や投資を増やすこと

大型テレビ、高級乗用車、輸入車、美術品、海外旅行



(89 年は重要な年)

ベルリンの壁崩壊

天皇崩御

89 年 4 月 消費税導入 戦後改革の一環として提言された () からの方針転換
() 中心から () も導入

三 バブル崩壊のマグニチュード

バブル崩壊

() 効果)

四 90 年代の日本経済

「失われた 10 年」

・ 89 年 バブルの崩壊その 1 () の下落始まる

・ 90 - 91 年 バブルの崩壊その 2 () の下落始まる

・ 92 年、93 年、94 年 バブル崩壊で低成長率

・ 95 年から 96 年

移動体通信の規制緩和 ()

不良債権の存在で、実感の乏しい景気回復

・ 97 年

財政引締め 社会保険料の引き上げ、医療費負担増、消費税率引き上げ

アジア通貨危機

山一証券破綻 金融システム不安

・ 98 年

思い切った景気拡大策

財政政策 () ()

金融政策 ()

・ 99 年 不況は底打ち

・ 2000 年 IT バブルの発生と崩壊

・ 2001 年 アメリカ経済の落ち込み (9.11 事件)

		政治・社会	経済	景気	教員	学生
1970	昭和45年				8	-14
1971	46年			↑	9	-13
1972	47年			↓	10	-12
1973	48年			↑	11	-11
1974	49年			↓	12	-10
1975	50年			↑	13	-9
1976	51年			↓	14	-8
1977	52年			↑	15	-7
1978	53年			↓	16	-6
1979	54年			↑	17	-5
1980	55年			↓	18	-4
1981	56年		レーガノミクス	↑	19	-3
1982	57年			↓	20	-2
1983	58年			↑	21	-1
1984	59年			↓	22	0
1985	60年		プラザ合意	↑	23	1
1986	61年		前川レポート	↓	24	2
1987	62年			↑	25	3
1988	63年			↓	26	4
1989	平成元年	天皇崩御 ベルリンの壁崩壊	株価最高値 消費税導入 地価最高値	↑	27	5
1990	2年			↓	28	6
1991	3年			↑	29	7
1992	4年			↓	30	8
1993	5年			↑	31	9
1994	6年			↓	32	10
1995	7年	阪神大震災 地下鉄サリン事件	携帯電話売り切り制	↑	33	11
1996	8年			↓	34	12
1997	9年		財政緊縮 アジア通貨危機 金融システム不安	↑	35	13
1998	10年			↓	36	14
1999	11年			↑	37	15
2000	12年			↓	38	16
2001	13年			↑	39	17
2002	14年			↓	40	18